

米原市指定史跡

下丹生古墳

しも にゅう 下丹生古墳は、市内で唯一、**よこ あな しき せき しづ** 横穴式石室内が見学できる古墳です。集落の上手東側の小高い丘の上、標高約150mに立地する**えん ぶん** 6世紀後半(古墳時代後期)の円墳です。規模は直径約14.5m、高さ約3.5mで、丘陵斜面上にあり集落から見上げるとかなり大きく見えます。逆に古墳からは集落中心部が一望でき、眺望を意識した立地がうかがえます。石灰岩の巨岩を組み合わせた石室の全長は7.5mあり、埋葬者を安置した**げん しつ** 玄室の大きさは、現状で長さ5.3m、幅1.6m、高さ1.2m、入口通路の部分は長さ2.2mです。かなり長大な石室といえます。天井は5枚の巨岩で構成されています。

古くから開口していたため出土品は1点も残されていません。**ひ そう しゃ** 被葬者については、史料からの推定で、正倉院文書に8世紀に都で絵師として活躍した「**おき ながの にう の ま ひと** 息長丹生真人」という古代豪族息長氏の一族が、このあたりの出身であることがわかつており、丹生真人一族の墳墓と考えられています。

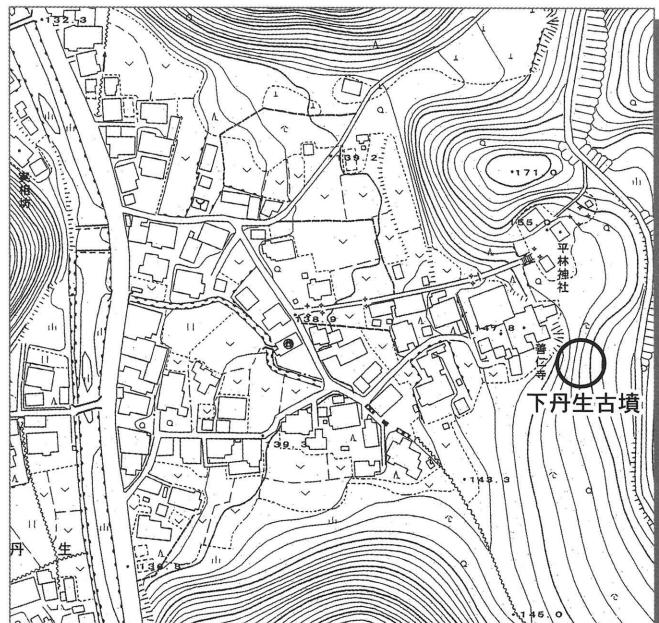




地元下丹生区の「下丹生まちづくりの会」は、平成16年から古墳周辺の雑草の刈り取り、竹や木の伐採、取り付け道路の設置、墳丘への土砂の盛上げと整地・成形など、繰り返し修復がおこなわれました。その後、芝やアジサイの植栽、鹿害防止柵の設置がなされ、区の大切な歴史遺産「下丹生古墳」が復元整備されました。石室入口には照明装置が設置されていて、じっくり古墳の観察をすることができます。



石室内部



修復前の古墳



修復中の古墳



市史跡 下丹生古墳

- 所在地 滋賀県米原市下丹生
- アクセス JR醒井駅下車。駅前の県道を南に約1.9km。江竜口左折して林道を約600m登る(随所に案内看板あり)。駅から徒歩約50分。

米原市教育委員会

滋賀県米原市長岡1206番地 TEL.0749-55-8106

平成20年度 埋蔵文化財活用事業